

# i SHARE

2023

May

## Management Information

- ・ Microsoft365にGPT-4機能搭載 : Copilot

## Special Feature

- ・ 2023年IT導入補助金

## About INFINITY / improve

- ・ INFINITY : YouTubeに公開している動画の作り方
- ・ improve : SUISHIN (スイシン) 助成金情報

## Technical Information

- ・ それって大丈夫? -Wi-Fiとパスワードの話



新しい体験やワクワクすることを  
増やしていこう

5月8日よりコロナが5類に移行されたことにより、外出先でもマスクを着けていない人も増えてきました。GWの大型連休移動も例年より多いかと思いきや、統計上は昨年とほぼ変わらないとのことだったので意外に感じました。これは大型都市での観光需要が回復する一方で遠方や高齢者の多い地方への移動は戻りが鈍くなっているからのようです。住む場所や年齢層により意識の問題があるのかもしれませんが。数年前の戦々恐々とした状況が遥か昔のように感じられ、時の流れの速さを感じるとともに、昔に戻るのではなく、時流の速さに対応したビジネス変革をしっかりとしていかなければと強く感じている次第です。先日、私が参加している交流会にてこんな話が上がりました。「子供の頃は1日の時間が長く感じたが、大人になるにつれ1日が短く感じていくのはなぜか知っていますか？これは子供の頃は新しいこと出来事・体験が多く、大人になれば未体験が少なくなっていくからと言われています。人生をより長く楽しくしていくには、新しい体験やワクワクすることを増やしていくことが必要になります。」とのことでした。この時間の感覚には色々な視点がありますが、確かに私の中でこのコロナ禍は、最初の1年目以降はあっという間で気づいたら終わっていた感覚です。インフィニティでは、お客様である中小企業が成長するためにどんな手助けができるのかの視点から、新しいことに挑戦しています。徐々に新しいサービスの顧客も増え、ITツールを導入するだけでなく、お客様と共に考え、目的を達成するために一緒に動いていくことの楽しさを改めて増やしていきたいと感じています。

さて、2023年度のIT導入補助金も事業者登録が開始され、インフィニティ・インプルーブ共に事業者登録が完了しています。今年度の変更点としては、

- ・ A類型の下限が引き下げられた（30万円以上 ⇒ 5万円以上）
- ・ クラウド利用料が1年分から最大2年分までに補助期間延長
- ・ デジタル化基盤導入類型の継続と補助下限額の撤廃

などが挙げられます。当年の申請は1企業1度までですが、年度が変われば申請可能のようですので、以前導入した企業も新たにIT活用を考える場合はご検討いただければと思います。

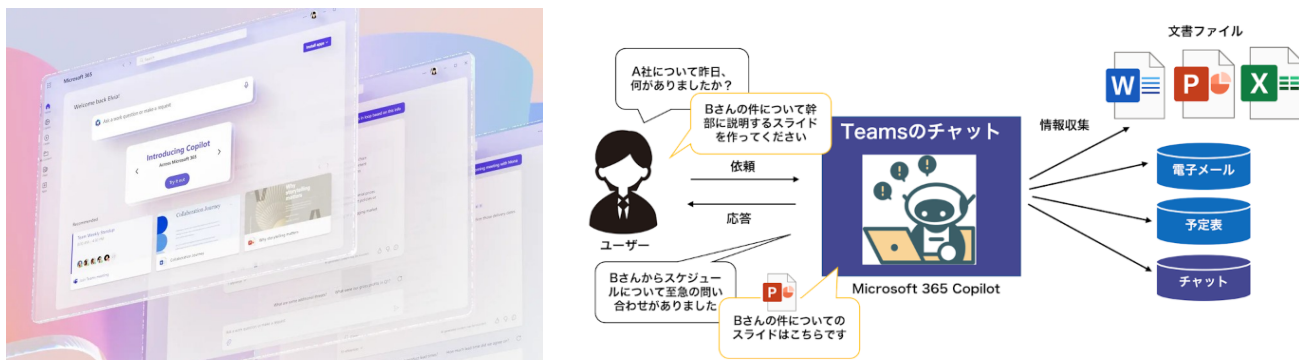
また、事業再構築補助金を採択された企業が対象事業に関わる人材を雇用すると280万円助成される「産業雇用安定助成金」も登場しました。国だけではなく県・市などの補助金、助成金は数々出ていますので、常に情報を仕入れていくことでビジネスの成長促進をできる可能性があります。是非、バックオフィスが毎年申請するプロセスを構築する「SUISHIN（スイシン）」サービスの導入をご検討いただけると幸いです。

コロナ禍を抜けた新しい時代を、一緒に成長しながらワクワク楽しくビジネストランスフォーメーションしていきましょう！

株式会社 インフィニティ/インプルーブ  
代表取締役社長 大畑 祐貴

皆さん、ChatGPTは試されましたか？私も先日試したのですが、確かにもっともらしい返事が返ってきます。現在は2021年時点でのデータしか活用できないようですが、今後、最新情報まで提供してもらえるとなると、検索の概念が変わってしまうかもしれません。

さて、OpenAIの独占パートナーとして100億ドル以上を投資しているMicrosoftは、同社製品の多くにAI機能を搭載する方針を示しています。既にチャットAIとして検索エンジンの「Bing」やWebブラウザの「Edge」に実装されています。そしてMicrosoft 365にもチャットAIとして組み込みがされる発表がありました。それが「Microsoft 365 Copilot」です。「Copilot（コパイロット/副操縦士）」は名前から想像できるようにオフィス製品の操作を手伝ってくれるチャットAI機能のようです。現在は限られたユーザーでテストをされており、順次拡大する見込みのようです。



Microsoft 365 Copilotは、Word / Excel / PowerPoint / Outlook / Teams / Whiteboard / One Noteなどに組み込まれるようです。GPT-4ベースのAIをユーザーが指示することでOfficeソフトを操作するとともに、過去の文書ファイルや電子メールデータなどを分析して、ユーザーの指示に沿ったコンテンツを生成するようです。例えばExcelの場合、Copilotにデータを渡して分析したい観点などを伝えると、Copilotがユーザーに替わってデータ分析を実行し、その結果を出力します。PowerPointであれば、ある商品を説明するWord形式のファイルに添えて「営業用スライドを作成せよ」との依頼をCopilotに入力すると、Copilotが営業用のPowerPointスライドを作成。また、単独のアプリだけではなく、アプリを横断して操作もしてくれるようです。

ポイントはAIであるCopilotがユーザーの指示に従って、ExcelやPowerPointなどが備える様々な機能を活用する点です。例えば、平均的なユーザーはPowerPointができることの10%未満しか使用していないと言われており、ユーザーの指示に応えるために使うべきOfficeソフトの機能を、AIが探し出し、利用されていない90%の機能を解き放つ目的もあるようです。

しばらくワクワクするような新しい機能が加えられなかったMicrosoft365ですが、久しぶりに近未来的な機能が追加されますね。AIは、人の代わりに行う作業が増えるため、自動操縦の最たるものと感じるかもしれませんが、マイクロソフトではあくまでも副操縦士として、人の仕事や生活をサポートする存在になることを強調していることが興味深いですね。生産性向上もさることながら、単純な文書作成作業などは今後AIに取って代わられるかもしれません。また、CortanaやAlexa、Siriなどの進化が止まっていたボイスアシスタントもこれを機に変わっていくかもしれません。

皆さんもこの機にGPT-4が搭載されるMicrosoft365に切り替えを検討してはいかがでしょうか？

2017年から始まったIT導入補助金制度ですが、今年で7回目になり、申請が可能な類型・枠が今年は5つあります。

- ① A 類型
- ② B 類型
- ③セキュリティ対策推進枠
- ④デジタル化基盤導入類型
- ⑤複数社連携IT導入類型

現在進行中のスケジュールは下記のように予定されています。

- ・通常枠（A・B類型）/ セキュリティ対策推進枠  
2次締切分：2023年6月2日（金）17時まで（予定）
- ・デジタル化基盤導入枠  
2次締切分：2023年5月16日（火）17時まで（予定）



種類	補助額	補助率	概要
通常枠 A 類型	5万～150万円未満	1/2以内	労働生産性の向上に資するITツール ソフトウェア購入費・クラウド利用料（最大2年分）
通常枠 B 類型	150万～450万円以下	1/2以内	・導入関連費
セキュリティ対策推進枠	5万円～100万円	1/2以内	「サイバーセキュリティお助け隊サービスリスト」に掲載されているいずれかのサービス  会計ソフト、受発注ソフト、決済ソフト、ECソフト +
デジタル化基盤導入枠 デジタル化基盤導入類型	下限なし～350万円	3/4以内 2/3以内	PC・タブレット・プリンター・スキャナー・複合機：補助率1/2以内、補助上限額10万円 +
デジタル化基盤導入枠 複数社連携IT導入類型	下限なし～350万円		レジ・券売機等：補助率1/2以内、補助上限額20万円 会計ソフト、受発注ソフト、決済ソフト、ECソフト 各種システム

IT導入補助金は中小企業のIT導入・デジタルトランスフォーメーションによる生産性向上を支援するための補助金です。各種類は、

- ・通常枠は「生産性向上」が対象。
- ・セキュリティ対策推進枠は、「独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）が公表する「サイバーセキュリティ お助け隊サービスリスト」に掲載されているセキュリティサービスの利用料を支援」が対象。
- ・デジタル化基盤導入類型は「インボイス制度への対応を見据え、会計・受発注・決済・ECソフトに加え、PC・タブレット・レジ・券売機等のハードウェア導入費用も支援」が対象
- ・複数社連携IT導入類型は「10者以上の中小企業・小規模事業者等が連携した、インボイス制度への対応や キャッシュレス決済を導入する取組等を支援します。連携のための事務費・専門家費」が対象。

となっています。是非ご活用ください！

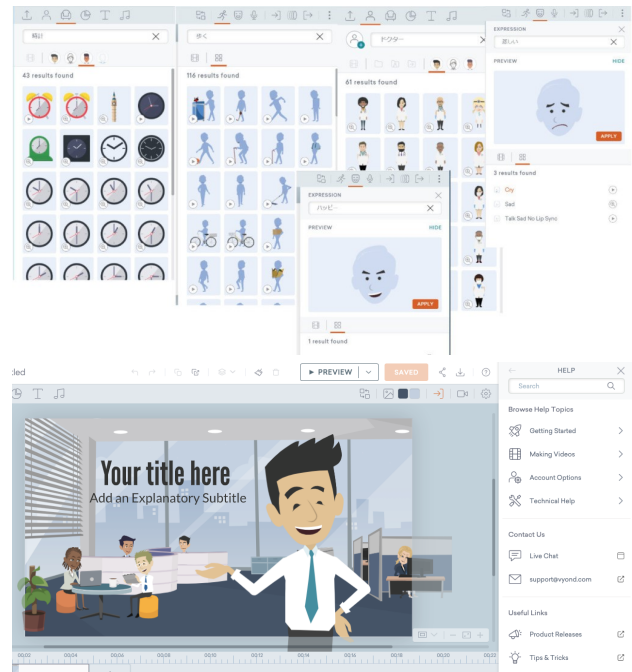
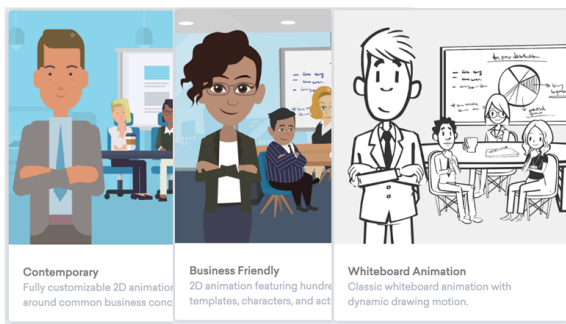
IT導入補助金サイトは[こちら](#)





最近お会いする方から「YouTubeに公開しているスタッフの動画みたよ！あれって何で作っているの？」と聞かれることがあります。インフィニティのスタッフは私も含めてシャイなので、実写を公開するには抵抗があるので、なんとか動画を作っていけないかな、と思い2年前から利用しているのが、「Vyond（ビヨンド）」というアニメーション作成クラウドサービスです。

# VYOND



YouTubeでよく見るアニメーションではないですか？おそらくそれはVyondで作成されています。利用ユーザーが多いためリファレンスなども多く、解説動画も多く存在しています。

また、パソコンにインストールする必要がなく、

- ・パワポを操作する感覚で作成できる
- ・シンプルな操作性のために習得スピードが速い
- ・人物背景などのテンプレートが豊富
- ・独自のキャラクターも作成可能
- ・キャラクターアニメ / ホワイトボードアニメ / インフォグラフィックスが作成できる
- ・BGMも豊富
- ・音声（ナレーション）も合成して作成してくれる

など、顔を出さない、声も出さない場合でも作成できるのが大きな魅力です。慣れてしまえば1時間～2時間程度で動画を作成できてしまいます。価格は1ユーザー170,000円（税抜）/年です。動画作成を依頼すると数万～数十万円するため、量産していくにはかなり価格は安いのではないのでしょうか？外向けの動画だけでなく、新人教育用のマニュアルを作成するなどの使い方もできるかもしれません。デメリットとしてはVyond利用者が多く同じような動画が多いため、目立つための工夫がいるところでしょうか。例えばキャラクターを使わずにシンプルなアニメーションを作成することでVyondらしさをあえて消していくこともできるかもしれません。

インタラクティブな情報提供を考えている場合は、Vyondを作成ツールの1つとして検討してもいいのではないのでしょうか？

2023年度が始まり、今年度の助成金情報が発表されました。今回は主な助成金情報を共有していきます。助成金を活用することで、人材育成費用負担の軽減が可能です。是非ご活用下さい！

- ・ **キャリアアップ助成金：正社員コース** ⇒ **57万円/人**  
▶ 有期雇用従業員を正社員に登用
- ・ **キャリアアップ助成金：賞与・退職金制度コース** ⇒ **40万円/事業所（2つ実施で+16.8万円）**  
▶ 正社員以外の従業員へ賞与または退職金を支給する制度を導入
- ・ **キャリアアップ助成金：賃金規定等共通化コース** ⇒ **60万円/事業所**  
▶ 有期雇用労働者と正規雇用労働者の賃金を共通化
- ・ **高年齢無期雇用転換コース** ⇒ **48万円/人**  
▶ 50歳以上の有期雇用契約者を無期契約に変更
- ・ **65歳超雇用推進助成金** ⇒ **状況に応じて15万円～160万円**  
▶ 定年延長または廃止
- ・ **人材開発支援助成金：教育訓練休暇付与コース** ⇒ **30万円/社**  
▶ 従業員に5日間以上の教育訓練休暇を付与
- ・ **人材育成支援コース：有期実習型訓練** ⇒ **760円×訓練時間/人 | 10万円/訓練**  
▶ 正社員経験が少ない有期雇用労働者を対象にOff-JTとOJTを組み合わせる職業訓練を実施
- ・ **産業雇用安定助成金：事業再構築支援コース** ⇒ **280万円/人**  
▶ 事業再構築補助金の採択を受けた事業所がその事業に必要なコア人材を雇用
- ・ **高年齢者評価制度等雇用管理改善コース** ⇒ **30万円/社**  
▶ 雇用保険加入の60歳以上(雇用して1年以上)の従業員1名に対して制度を実施
- ・ **介護離職防止支援コース** ⇒ **75万円/人**  
▶ 従業員が介護休業を合計5日以上取得
- ・ **出生時両立支援コース** ⇒ **20万円/社**  
▶ 男性従業員に子供が生まれた後、連続5日以上育休を取得
- ・ **育児休業等支援コース** ⇒ **60万円/人**  
▶ 従業員が連続3ヶ月以上の育児休業を取得



助成金/補助金コンサルティングサービス

**SUISHIN**  
スイシン

まずは『[30秒で受給できる助成金をチェック](#)』



#### 【公衆Wi-Fiのご利用】

何かと便利な公衆Wi-Fi。

不特定多数の人が接続するため、気を付けておかなければいけないことがあります。大前提として、暗号化されていない公衆Wi-Fiには接続すべきではありません。

では暗号化されているWi-Fiなら安全なのかというと、残念ながらそうとも限りません。提供されているWi-Fiアクセスポイントでは、SSIDと一緒にパスワードも公開されているケースが多く、この場合は攻撃者も同じWi-Fiにアクセスできてしまうので、簡単に通信内容を盗み見ることが可能となってしまいます。公衆Wi-Fiを利用する際に、ブラウザが起動してきてIDやパスワードの入力を求められることがあります。アカウント作成のために個人情報の入力や、他アプリとの連携（TwitterやFacebook等）でのログインを求められることがあります。

このような場合は、安易に入力してしまうのではなく、URLの確認や、接続しようとしている先が利用目的にあったサービスのものかを注意深く確かめる必要があります。安全な判断が出来ない場合には、利用しないという決断をすることも重要となってきます。通信を盗み見られていたとしても、ブラウザなどで「https」から始まるURLにアクセスしている場合には、その通信内容は暗号化されており比較的安全です。この場合、SNSへのログインを行っても、ログインIDやパスワードが知られてしまうことはありません。

逆に言うと、SSLを利用していないURL（httpで始まるURL、sがついていない）では、暗号化はされていないので入力した情報や内容は第三者に盗み見られる可能性があります。

最近では、SSLを利用していないURLにはブラウザ側で警告を出すようになっていますが、公衆Wi-Fiを利用しているときには、利用者側でも注意が必要となります。



#### 【スマホのパスワード管理】

Apple IDを始めとして、Googleアカウント、各利用ソフト・アプリケーションであるPayPay、Amazonなど、私たちは仕事でもプライベートでも日々大量のパスワードを利用、管理しています。最近では脱パスワードの流れも少しずつ出始めているものの、まだまだパスワードを利用することは多いです。

《パスワード管理で注意すべき点》

- ・ パスワードの使い回しをしない
- ・ 目に付く場所に書いて置かない
- ・ 推測されやすいパスワードを利用しない

1つのパスワードを使いまわすと、流出した場合には全てのサービスで更新の対応が必要となります。また、スマホケースに紙を入れておくやパソコンのディスプレイに付箋で貼り付けてあると、流出の可能性が高く、いつ誰に見られているか分かりません。

2022年に最も使用されたパスワードランキングとして

1位「password」、 2位「123456」、 3位「123456789」

「a（エー）」を「@（アットマーク）」に「o（オー）」を「0（ゼロ）」に置き換えていたとしても、推測可能な時点でパスワードとしては脆弱なため、ご利用のパスワードが万が一、上記に当てはまっている場合はすぐに変更・更新する事をおススメします。



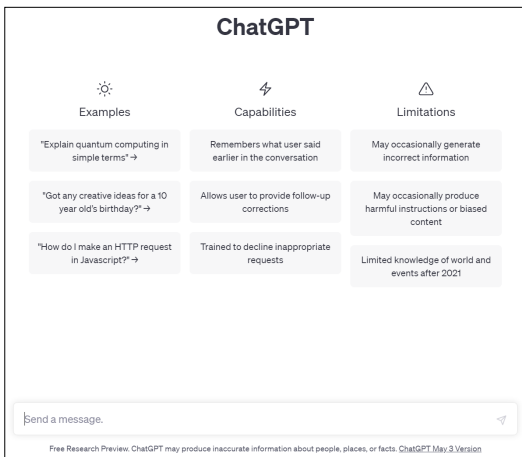


Let's  
TRY

ChatGPT

メルマガでも取り上げた「ChatGPT」。毎日、この言葉をネットやテレビなどで目や耳にしている気がします。

「ChatGPT」とは、AIが自動で文章を作成して対応してくれるAIチャットです。まだまだ、日本語の対応は完璧ではないらしく、日本語での使用には注意が必要とのこと。GMOインターネットグループでは、研究開発へのChatGPTの活用を推奨している反面、NTTドコモやサムスン、鳥取県庁などでは使用禁止としています。



業務や仕事に使うのはまだ時期尚早のようですが、生活に入ってくるのも時間の問題と考えると、その日のために触れておくのはいいかもしれません。

日本語はまだまだと言っても、プログラミング言語は日本語ではないので、対応は優秀なようです。自分で作成したプログラムを入れて、「Cleanup the code」と伝えれば、プログラムをきれいに修正してくれるそうです。

他にも、ネットを検索すると「しりとりをしてみた。」や「ChatGPTに『あなたは私のペットとして回答してください』と伝え、ペットとして飼ってみた。」といった人もいます。間違った回答も、あたかも正しいかのよう回答されるので、仕事など真剣な使い方では疑うことは必要ですが、しりとりや雑談を試してみようといった、影響の少ない使い方から始めてみてはいかがでしょうか。

※ChatGPTの利用にはアカウントが必要です。

2023

May

i SHARE

編集・制作

安藤 玲子

### あとがき - Editor's Note

ゴールデンウィークもあっという間に過ぎました。マスクの解禁から、新型コロナが5類に格下げもされ、国内・海外へ旅行された方も多いのではないのでしょうか。私もそろそろ海外旅行したいなと思いつつ、イベント2つに出かけ、さらには餃子を2回作り合計160個！結構散財しちゃったので、しばらくはお財布自粛生活します。

今日は、ネイルサロンと整体院から、「マスクはお客様の判断でなくてもいいです。」というLINE通知が来ました。だんだんとコロナ前に戻つつあるなぁと実感しつつも、お友達の1人はワクチン6回目を打つそうです。コロナに限らずですが、自己防衛は忘れないようにしなければいけないですね。

発行元：株式会社インフィニティ

代表取締役 大畑祐貴

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内 3丁目17-29  
丸の内iaビル7階

☎ 052-228-0417

✉ support@infinity-i.co.jp